

Kinani

きらり

vol.
20

2024.08

産科・婦人科医の

知っておいて
ほしいおはなし



世の中には、免疫力を高める食品や運動などの情報があふれています。中には眉唾と思われるものもあるので、すべてを信じてしまうのは危ないかもしれません。お母さんにとって、生まれてくる赤ちゃんの免疫力を高めて、病気にかかりにくくしてあげたいと思うのは自然なことです。では、赤ちゃんの免疫力を高めるには何をすれば良いのでしょうか。

効果的に免疫をつける

もともと効果的なのは、生後2か月から始まる予防接種（ワクチン）をスケジュールどおりにきっちり受けさせてあげることです。ワクチンによってあらかじめ赤ちゃんが抗体を作る

赤ちゃんの免疫を高める方法

ことができれば、免疫の力でその病気にかかることを防げたり、かかって重症になることを防ぐことができたりします。

受け継ぐ母の免疫

では、なぜ生まれてすぐではなく、2カ月たってから予防接種を始めるのでしょうか？それは、生まれたばかりの赤ちゃんは、免疫の仕組みがまだ出来上がっておらず、自分で抗体を作ることができるようになるまでに1カ月以上かかるからです。お母さんの子宮の中で守られていた赤ちゃんは、生まれてくるとすぐにいろいろな細菌やウイルスに触れることになり、それに対する抗体を作りますが、それが安全な時期を安全に過ぎるのは、お母さんの免疫が生まれた後も赤ちゃんを守るからです。

それだけでは守れない？

子宮の中で赤ちゃんは胎盤をとおして、お母さんが持っている抗体をもらって生まれてきます。生まれた後は、お母さんが作ってくれた抗体が赤ちゃんを守るのです。でも、赤ちゃんが生まれてすぐにかかると危ない病気に対する抗体をお母さんが持っていないかったり、持っている量も少なかったりす

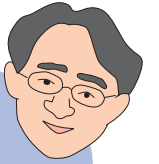
ることがあります。その場合、赤ちゃんはその病気にかかって重症になってしまうことがあります。このような怖い病気としては、百日咳やRSウイルス感染症があります。RSウイルスは鼻かぜのウイルスですが、生まれてすぐの体力のない赤ちゃんがかかると、気管支炎や肺炎を起したり、無呼吸発作や急性脳症を起したりすることがあります。赤ちゃんのお兄ちゃんやお姉ちゃんのちよつとした風邪からうつされたりすることがよくおこるのです。百日咳は大人でも感染すると咳が続いて体力を消耗するつらい病気ですが、生まれてすぐの赤ちゃんにとっては大変恐ろしい病気です。

お母さんができること

このような病気について、生まれてすぐに感染して重症化することを防ぐために、妊娠中のお母さんに予防接種をして、たくさん作られた抗体を赤ちゃんに渡してあげること、赤ちゃんの免疫力を上げることが出来ます。残念ながらまだ定期接種にはなっていないので、自費で接種を受けていただく必要がありますが、当センターでも接種の準備を進めています。興味のある方は、担当医にご相談ください。

小児科マメ知識

小児科 おしえて ドクター!



前は「けんしん(健診と検診)」の違いについてお話しをしました。今回は検診の中でも学校心臓検診についてお伝えしたいと思います。

早期発見のための検診

学校心臓検診は、学校保健安全法で定められている学校健診の環として行われます。「心臓の病気および異常があるかないかの検査」は、幼児、児童、生徒、学生に対して毎年行うことになっています。その方法は、調査票(これまでの病気のことや症状、家族の様子などをたずねる)や医師によ

る診察(聴診器で心臓の音を聴く)、心電図検査等によって行うとされています。中でも、小学校1年、中学校1年、高等学校1年、高等専門学校1年では、全員に心電図検査が義務付けられています。多くは4月、5月に心電図がとられています。このように対象となる児童全員が受ける心臓検診を1次検診と呼びます。1次検診で何らかの異常が指摘された場合には、学校で行う2次検診や直接病院での検査に進むこととなります。

学校心臓検診の目的

- 学校心臓検診の目的には、
- ① 心疾患の発見や早期診断をすること
 - ② 心疾患を持つ児童に日常生活の適切な指導を行い、生涯を通じて

できるだけ健康な生活を送ることができるよう援助すること

- ③ 心臓突然死を予防すること

などがあります。

1次検診で異常を指摘された児童全員に心臓病がみつかるというわけではありませんが、2次検診を受けるように言われた場合や、病院受診を勧められた場合には、必ず受診するようにしましょう。転ばぬ先の杖ではありませんが、何事も早期発見、早期対応が大切です。

当センターは大阪市学校心臓検診精査受託機関として指定されています。学校や幼稚園・保育所などで心臓に関連して異常を指摘された場合は、かかりつけ医の先生を通じて紹介してもらってください。

学校心臓検診のおはなし



産科・小児科(南館)

患者さんとの 面会方法が 変更になりました

患者さんへの感染予防のため、お子様の病棟への入室はご遠慮いただいております。ご理解・ご協力をお願いします。

	面会時間	面会受付	
産科・小児科 (南館)	15:00 ~ 19:00	面会カードを記入下さい 産科: 4階エレベーター前 小児科: 5階エレベーター前	面会カードを記入いただき、インターフォンでお知らせください。 面会カードをナースステーションへお渡しください。面会シールをお渡します。
NICU・GCU (南館4階)	面会を制限しております 直接お問い合わせください		



30分以内



不織布マスク



手指消毒



飲食禁止

夜間・休日の施錠について

平日 18:00 から翌朝 7:30 まで、土日祝日は、終日施錠しています。御用の際は、北出口・南出口よりインターホンで守衛にお知らせください。